

公共施設のコスト計算書

施設名	栗林公園		
所在地	高松市栗林町一丁目1564番地の2	供用開始年度	明治8年
施設の種類	特別名勝、都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	公共の福祉の増進に資する都市公園としての役割と貴重な文化財の保存と観光資源の活用を図るため		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	国の特別名勝に指定されている庭園の中で、最大の広さを持つ江戸時代初期の回遊式大名庭園。明治4年に高松藩が廃され、新政府の所有となったが、明治8年、県立公園として一般公開され、現在に至る。
		【職員の状況】	
利用料金	入園料	所長	総務課長 — 副主幹(2)主任(1) { 会計年度任用(5) 造園課長 — 副主幹(1)主任(5)(造園技術6名) { 技師(3)(造園技術3名) 会計年度任用(3)
大人	410円		
小人	170円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	221,184	57.3%	216,243	4,941
退職給与引当金繰入等				
小計	221,184	57.3%	216,243	4,941
物にかかるコスト				
物件費	103,036	26.7%	154,918	△ 51,882
維持補修費	3,579	0.9%	3,857	△ 278
減価償却費	57,060	14.8%	52,298	4,762
その他				
小計	163,675	42.4%	211,073	△ 47,398
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	1,120	0.3%	1,138	△ 18
その他				
小計	1,120	0.3%	1,138	△ 18
行政コスト合計 ①	385,979	100.0%	428,454	△ 42,475

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	193,683	50.2%	97,918	95,765
国庫支出金			31,254	△ 31,254
その他	8,568	2.2%	14,143	△ 5,575
計 ②	202,251	52.4%	143,315	58,936
県単独負担額 ①-②	183,728	47.6%	285,139	△ 101,411

●県債残高(R5.3.31現在)

328,005 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

R2	359,199人
R3	306,399人
R4	577,588人

(個人での利用率)

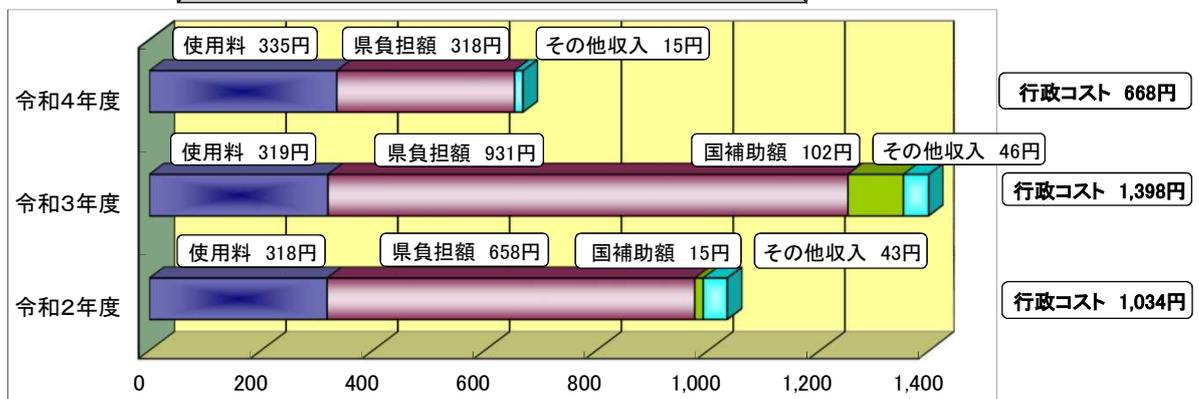
R2	97.7%
R3	98.4%
R4	96.0%

●コスト指標

(入園者1人当たりにかかるコスト)

R2	1,034円
R3	1,398円
R4	668円

入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

本園は、約75haにも及ぶ文化財庭園であるが、令和4年度についても、利用者の利便性の向上を図るため、園内既存施設の修繕等を行いつつも、園内資源を利用したり、効果的・効率的な運営により経費縮減に努めた。
 また、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらのイベントの実施など、入園者の安全確保に配慮しつつ、集客に向けた取組みを実施した。